



J-Debit News

日本デビットカード推進協議会

1. Topics

■ キャンペーン開催

今年も、いよいよ11月1日から年末年始に向けてのJ-Debit使ってトクトクキャンペーンが始まります。

現在、会員の皆様へはキャンペーンポスターおよび応募はがき兼用のリーフレット、マニュアルをお送りしております。お手元に届きましたら、内容を確認頂き、ポスターの掲示やリーフレットの配布にご協力をお願い致します。

尚、キャンペーン期間中にリーフレットが不足した場合は、追加ご要望枚数を事務局までご連絡ください。

キャンペーンの告知は、店頭やキャンペーンサイトの他、雑誌レタスクラブや全国主要33都市のタウン誌にて実施します。

会員の皆様のホームページへも、キャンペーンサイトのリンクを設定頂きますよう、お願い致します。



<応募はがき兼用リーフレット 表・裏>

J-Debit 使ってトクトクキャンペーン2003

- [開催期間] 2003年11月1日(土) ~2004年1月31日(土)
- [賞品] 抽選で現金10万円を30名様、5,000円を750名様にプレゼント!
- [応募対象] キャンペーン期間中5,000円以上J-Debitを利用された方
(3回以内の利用で合計が5,000円以上の場合も応募可能)
- [応募方法] 専用ハガキ、官製ハガキ、
キャンペーンサイト(<http://www.j-debitcampaign.co.jp/>)にて応募
- [応募締切] 第1回目: 2003年12月15日(月) ※ハガキでの応募は12月18日(木) 消印有効
第2回目: 2004年1月31日(土) ※ハガキでの応募は2月3日(火) 消印有効
- [お問合せ] 協議会ヘルプデスク
TEL:03-3986-7960(8:00~21:00月~金)
※祝・祭日ならびに12/27~1/4は除く

■ J-Debitロゴステッカー配布

協議会ヘルプデスクや事務局には、J-Debitをご利用いただいている多くの方から、「J-Debitを利用したいが、店頭やレジに表示がないので利用可能店かどうかわかりにくい」といった意見が寄せられています。

そこで、キャンペーンツール送付時に、ご要望を頂いた加盟店様へは「J-Debitロゴステッカー」を同封させて頂きました。お客様の目に留まりやすい箇所へ貼付頂き、店頭での告知強化へのご協力を、よろしくお願い致します。



<J-Debit ロゴステッカー (名刺サイズ) >

2. J-Debit 導入事例の紹介

今号は、情報処理センター様のJ-Debit普及への取り組み事例を掲載します。



NTTデータ INFOX-NET様

協議会発足当初より、独自にJ-Debit普及に力を入られているNTTデータ様。同社の運営する情報処理センターINFOX-NETでは、平成11年10月にJ-Debitの取り扱いを開始し、現在までINFOX端末の設置台数も順調に増加してきました。

今回は、端末の設置推進やINFOX-NETでのサービス提供を通じて取り組むJ-Debitの普及について、株式会社NTTデータ カード決済商品企画担当の小島さんにお話を伺いました。

■ INFOX端末でJ-Debit決済

INFOX端末は同社の提供する決済端末で、平成11年10月にJ-Debitの取り扱いを開始しました。

INFOX端末には据置型とモバイル型があり、据置型は、レジスペースのある小売店や飲食店、各種学校、病院などで利用されています。サイズのスリム化やPOSとの連動など加盟店様のニーズを随時取り入れ、全国にDPE店舗を展開されている株式会社55ステーション様などに導入されるなど、設置台数は順調に増加しています。

また、モバイル型は据置型の設置が難しい業態に導入されており、例えばタクシーの乗車料金の支払い等、より多くの決済場面でJ-Debitが利用できるようになりました。



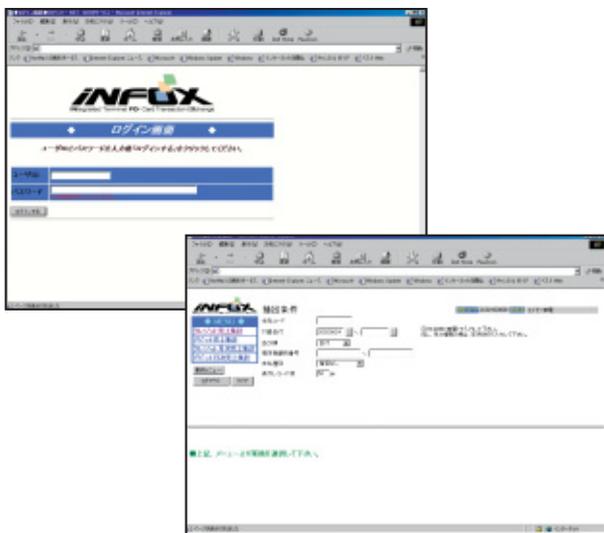
<INFOX端末>

■ NHK（日本放送協会）様の放送受信料の訪問集金業務に試行導入

平成15年7月には、NHK様の放送受信料の訪問集金業務にモバイル型INFOX端末が試行的に導入され、視聴者の方が放送受信料をJ-Debitで支払うことが可能となりました。訪問集金業務を行うNHKの「地域スタッフ」の方からは、「現金の持ち合わせがなかった方にデビットカードでお支払いいただけた」などの評価を受けられているとのこと。

小島さんは「現在は東京都内の一部での試行ですが、この試行でお客様のニーズを的確に把握、吸収し、J-Debitの普及により役立つサービスを提供できればと考えています」と更なる展開を目指していらっしゃいます。

■ 付加サービスも充実



<売上集計Web照会サービスの画面>

J-Debitの普及に伴い、導入する店舗や企業の事務作業の効率化に役立つサービスの開発、提供も積極的に行っています。

「INFOX-NET売上集計サービス」や「INFOX-NET売上集計拡張サービス」がそれ。

前者は、複数店舗をかかえる加盟店本部様に、全店舗分のデビットカード取引データ（金額、取引日時など）をまとめて提供するサービスで、加盟店本部様は、ファイル受信もしくはインターネット経由での照会によりデータの還元を受けることができます。

前出の株式会社55ステーション様も、全国の店舗分のデビットカード取引データを一元的に管理するために利用されています。

また後者は、それに加えてINFOX端末から入力された加盟店様の独自情報も還元するサービスで、損害保険会社様などに利用

されています。たとえば初回保険料がJ-Debitで支払われた際、金額などのデータだけでなく、「証券番号」や「代理店登録番号」など独自情報を併せて入力することができるサービスで、「損害保険会社様での事務処理負担を軽減できる」サービスとなっています。

■ まずは「使ってみていただきたい」～利用促進キャンペーン～

同社では、INFOX端末の設置によるJ-Debitの普及活動だけでなく、「実際に利用していただくことにより『便利』を実感していただきたい」との思いから、INFOX端末設置加盟店様にご協力いただき、平成15年3月に利用促進キャンペーン「キャッシュカードでお支払い&スクラッチ！」を実施しました。

これは、2,000円以上のお支払いにJ-Debitをご利用いただいた方にくじを差し上げ、「当たり」がでたら2,000円をキャッシュバックするという内容。

キャンペーンの企画にあたっては、まず「J-Debitを使ってみよう」と感じていただけるように「スクラッチくじ」で当たりがその場でわかるようにしたり、キャンペーン対象金額を2,000円に設定し、チャンスを多く感じていただけるようにするなど工夫されたとのこと。もちろんキャンペーンの告知にはポスターやPOPを作成し、加盟店様にご利用いただいたそうです。

今後もキャンペーンの継続実施を予定されています。

＜キャンペーンポスター&スクラッチカード＞

Pick up 活動状況

平成11年

- 4月 据置型 I N F O X 端末販売開始
- 10月 「INFOX-NETデビット中継サービス」開始

平成12年

- 5月 「INFOX-NET売上集計サービス(デビット)」開始
- 11月 モバイル型 I N F O X 端末販売開始
- 12月 「INFOX-NET売上集計拡張サービス」開始

平成13年

- 8月 「INFOX-NET売上集計Web照会サービス」開始

平成15年

- 3月 「デビットカードでスクラッチ&キャッシュバックキャンペーン」実施
- 7月 NHK様 モバイル型 I N F O X 試行導入

■ 利用シーンの増加によりJ-Debitの普及をめざす

「これからもJ-Debitの利用シーンをどんどん増やしていきたいと思います」と小島さん。

今後も、新聞販売店など訪問集金を実施している業態にモバイル型端末を展開したり、付加サービスの内容をさらに充実するなど、J-Debit普及に力を入れていかれるとのこと。

＜企業概要＞

名 称：株式会社 N T T データ
 情報処理センター名称：INFOX-NET(インフォックスネット)
 所 在 地：東京都江東区
<http://www.nttdata.co.jp/>



JTB C→REXセンター様

JTB様は、自社店舗やコンビニに設置のマルチメディア端末での旅行販売に加盟店としてJ-Debitの利用を推進している他に、情報処理センターとして観光業界を中心にJ-Debitの普及活動をおこなっています。

今回は、C→REX事業推進室の杉浦さん、C→REXセンター花澤さんにお話を伺いました。

■ コンビニに設置のマルチメディア端末でのJ-Debit決済

JTBでのJ-Debitの取組みは、J-Debit第一フェーズより前の1998年9月1日。J-Debitスキームとしては京都情報システムとともに最も早く、コンビニのローソン様に設置のマルチメディア端末(Loppi)での旅行販売から始まりました。(当時約7,000ヶ所)

これは、クレジットカードの暗証番号の認知率が低いことから、マルチメディア端末の決済(暗証番号入力必須)ではJ-Debitの開発が待望されていたためです。現在は決済手段のひとつとしてすっかり定着しており、この8月よりスタートしたLoppiによる「toto」の販売にもこのノウハウが活かされています。



<マルチメディア端末Loppi>

■ JTB旅行店舗での取組み



<JTB旅行店舗>

JTB旅行店舗(300ヶ所)でのJ-Debit利用は、新POSの開発に合わせて2001年4月から始まりました。旅行代金をATMで引き出してお入金いただく方が多いなか①キャッシュカードで気軽に決済ができる。②お客様の手数料負担がない。③安全性が高い。等と好評で、利用も前年比150%~200%で伸びています。

社内でも、クレジットに比べ手数料が低くなることからキャンペーンを実施し、普及に努められています。

■ C→REX (情報処理センター)

C→REXは、JTBと関係の深い観光業界でのJ-Debit普及を目的に発足した通信・決済情報処理センターです。加盟店は全国の観光地を中心として旅館・ホテル、お土産店、飲食店、観光施設、旅行会社等約20,000ヶ所。すべてC→REX端末(有線、無線)が設置されています。

■ サービスマーク

C→REX加盟店にお渡しするキット。加盟店プレートやシールはオリジナルデザインのものを作成。

■ C→REXのフォーメーション

「C→REX事業推進室」を中心にコールセンター、精算センターである「C→REXセンター」、「コンピューターセンター」、端末の設置、メンテナンスをおこなう「C→REXテクニカルサポート」、及び全国の「営業個所」で運営しています。



<加盟店向けキット>

J-Debitの利用事例

J-Debit利用実績の高いC→REX加盟店の声（事例）を紹介いたします。

Aアパレル（ブティック）

「持ち合わせがないのでまたきます」「今日はクレジットカードを持っていないので」、というお客様に、「キャッシュカードはお持ちですね、それでお支払ができます」という一声で、売上が1割くらい増えた加盟店があります。「クレジットカードは持ってなくても、会社に勤める方なら、給料振込のための口座は必ず持っているはず。お客様を引き留めるひとつとしては、有効です」とのこと。また、「デビットカードのことを知らないお客様も多いので、プレートやポスターを常にわかりやすい場所に貼って、それを見せながら説明すると効果的」だそうです。

B美容院

「カットだけに来たお客様に、カラーリングやトリートメント等、魅力的メニューをすすめると、心は動くようですが、だいたいの金額を想定しているので手持ちがないことが多いようです。その時キャッシュカードでも払えますよ、と言うとお客様に喜ばれることがあります」「デビットカードの仕組みについてもゆっくり説明できるためキャッシュカードを使うのに不安をお持ちのお客様にも理解頂けます」とのこと、これで売上がぐんとアップしたとのこと。

Cインテリア家具店

「高額商品のためクレジット利用が多いのですが、なるべくデビットカードに誘導しています」「手数料が5分の1以下になるため、ばかになりません」とのこと。誘導の仕方は残念ながら秘密だそうです。

D旅行会社

「旅行商品の説明をしてせっかくその気になったのに手持ちがなく“後日申込みになります”ということで販売機会を逃すことが結構あります。キャッシュカードで決済できますと言うと、おどろくほどその場でお申込み頂けます」

Eスクール

「授業料や教材費等、すべてデビット決済のみにしました。現金收受をしていたときは現金收受、おつり、保管、突合等の業務に多大な時間が必要で、また現金が合わないことが多くありました。デビットのみにしたため、レジもなく後方業務も大幅に減りました。学生はほとんどキャッシュカードを持っていますので、慣れると現金出納がなくてもまったく問題ありません」とのこと。

F湯治場の旅館

「長期滞在者が多いため、多額の現金をもってこられ紛失、盗難、思い違い等結構トラブルがありました。キャッシュカードで決済できるようになってから、予約を頂いたとき現金を持たずキャッシュカードを持ってくるようにご案内をしています。高齢の方が多いためクレジットカードには馴染みが薄いので、カード決済は少なかったのですが、デビット決済は増加しています」

このように、ちょっとした工夫で、お客様にも加盟店様にもメリットのある利用方法を見つける事ができます。なお当社では、C→REX加盟店にこれらをまとめた小冊子「デビットカードの上手な使い方満載、業種別かいけつ虎の巻」を配布し、利用促進を図っていらっしゃいます。



< 小冊子 >



< C→REXセンターの方々 >

C→REXセンター様からのメッセージ

C→REXセンターの受付は365日、24時間無休で、日本全国に設置された20,000台のC→REX端末加盟店からのお問い合わせ、J-Debit、クレジット、ポイントシステムの精算、端末管理を行っています。端末申込、端末機の操作法、決済状況の確認、加盟店登録データ変更の受け付け等々、コールセンターとしてお受けする電話の内容は様々です。

また、精算管理も重要な業務です。C→REX加盟店様は旅館ホテル、物販、運輸、サービス業と多岐に渡っているため、その時々取扱高から季節の移り変わり、夏の天候不順の影響や景気の良し悪しが、数字の間に垣間見えるのは興味深いところです。

お客様や加盟店様のデータを取り扱う当センターでは、ガイドラインの制定や定期的な勉強会の実施等セキュリティに最も留意しています。また当センターは社内でも隔離され、IDカードなしでは出入りできないので、気軽に見学いただけないのが残念です。

JTB C→REXセンターは“QUICK、QUALITY、QUEST”の3Qオペレーションをテーマとし、頑張っていますので、これからもよろしくご願ひ致します。

3. 協議会事務局からのお知らせ

■ ホームページのID・パスワード変更について

協議会ホームページの「会員向けページ (<http://www.debitcard.gr.jp/member/index.html>)」でご利用頂くID・パスワードにつきましては、ご案内させて頂きました通り、8月上旬より、会員様個々のID・パスワードにての運用となりました。お忙しい中ご協力いただき、有難うございました。

尚、ID・パスワード管理者の変更等がございましたら、「パスワード関連情報変更/再通知申請書」に必要事項を記載し、協議会事務局までご連絡ください。様式は、「会員向けページ」の「各種申請書」よりダウンロードいただけます。

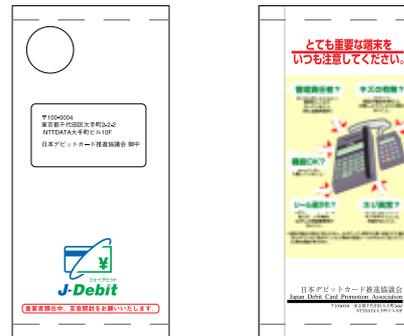
■ セキュリティチェックシート改訂について

11月より、「セキュリティチェックシート」を改訂いたします。今回の改訂では、従来の形態を極力変更せず、コストを削減することを目的としており、改訂によりサイズや形が変更され、製作費および送料、梱包費などの削減が図れました。

■ セキュリティチェックシート改訂版イメージ図

送付時の外形サイズ：縦 235 mm×横 110 mm

(長方形の用紙を6ツ折りにし、封書状にしたもの)



<送付時外形 表面/裏面>



<開封後の内面>

■ ホームページ「ご利用可能な加盟店」の見直しについて

現在、「ご利用可能な加盟店」のページでは、情報開示にご了解頂いた加盟店様の「店舗名」を、地域・業種別に掲載しております。しかしながら、ホームページをご利用の皆様からは、「現在の情報では不十分なため、住所等も併せて開示してほしい」との強い要望が寄せられています。そこで、過日ご案内しました通り、加盟店情報に「郵便番号」・「住所」・「電話番号」の項目を追加し、検索方法も見直す方向で検討を進めております。

これを機に、会員の皆様には改めて加盟店情報開示の可否をお伺いしておりますが、J-Debit利用促進のため、開示へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

編集者の交代

来年1月発行のJ-Debit News 第7号から、編集担当者が替わります。取材にご協力頂きました方々をはじめ、ご意見をお寄せ頂いた皆様、ありがとうございました。これからも、会員の皆様のご参考になるような記事掲載を心がけていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

(15年度担当：藤井 16年度担当：濱島)



日本デビットカード推進協議会

東京都千代田区大手町2-2-2 NTT DATA大手町ビル10階

[事務局] [ヘルプデスク]

電話 03(3243)0781

電話 03(3986)7960

Fax 03(3243)0782

Fax 03(3590)9223

e-mail info@debitcard.gr.jp (ご意見・ご感想等お寄せ下さい)

【会員・加盟店登録状況】(平成15年9月19日現在)

金融機関会員 1,973 特別会員 2

加盟店会員 182 賛助会員 121

登録加盟店 1,154

※端末設置台数 全国約20万ヶ所